

平成26年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
生涯学習推進基本講座【道東会場】事業報告

I 事業の概要

- 研修テーマ 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について
～社会教育主事・社会教育担当職員の専門性を生かすために～
- 1 趣 旨 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画等に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
北海道社会教育主事会協議会（根室管内社会教育主事会）
- 3 協 力 北海道教育庁根室教育局
- 4 期 日 平成26年10月 2日（木）
- 5 会 場 標津町生涯学習センターあすぱる（標津町南1条西5丁目5番3号）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員など）、生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員、青少年教育施設職員等
30名
- 7 参加状況 33名（社会教育関係職員 32名、社会教育関係職員以外 1名）
- 8 日 程

10:00 10:15		11:15	12:00	13:00	14:45 15:00	16:00	
受付	開会	講義	A：講義・演習① 「社会教育事業の企画立案を体験」	昼食 休憩	A：演習② 「社会教育事業の企画立案を体験」	情報提供	個別相談
			B：ワークショップ① 「社会教育主事・社会教育担当職員として必要なものを整理」		B：ワークショップ② 「社会教育主事・社会教育担当職員として必要なものを整理」		

※ 個別相談について（希望制）
推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じた。



9 活動の概要

(1) 講義「生涯学習・社会教育に関する動向について」

【講師】北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也

【内容】生涯学習、社会教育に関する法令を交え、生涯学習や社会教育を推進する意義や役割を確認するとともに、国や道の動向について説明し、地域住民との協働（互助・共助）を視点とした取組を推進することの必要性を説明



講義の様子

(2) A：講義・演習①②「社会教育事業の企画立案を体験」

【講師】北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也

【内容】地域課題の解決を視点とした社会教育事業の企画の意図について確認し、実際に事業企画を体験することで、企画立案のポイントやノウハウを整理



講義・演習②
企画づくりを体験

B：ワークショップ①②

「社会教育主事・社会教育担当職員として必要なものを整理」

【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター主査 會田 大祐

【内容】社会教育主事・社会教育担当職員のあるべき姿を振り返るとともに、よりよい地域づくりに向けた社会教育主事・社会教育担当職員として必要なことについて協議



ワークショップ②の様子
社会教育主事・担当職員のあるべき姿を考える



(4) 個別相談（希望制）

【対応】北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也

〃 會田 大祐

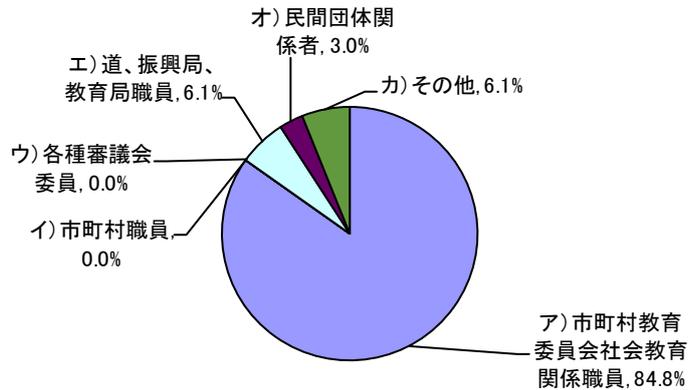
【内容】

根室市	社会教育計画策定に係る数値目標の設定について
別海町	「放課後子ども総合プラン」に係る行動計画の策定について
中標津町	社会教育単年度計画における評価の在り方について
羅臼町	社会教育中期計画策定のポイントと評価の在り方について

Ⅱ 事業の満足度

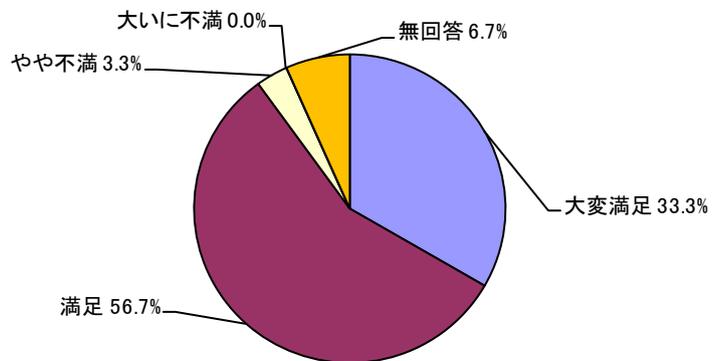
1 アンケート対象者数 33名 回答者数 30名 (回収率 90.9%)

参加者(所属)状況



2 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 90.0%
-------	------------------

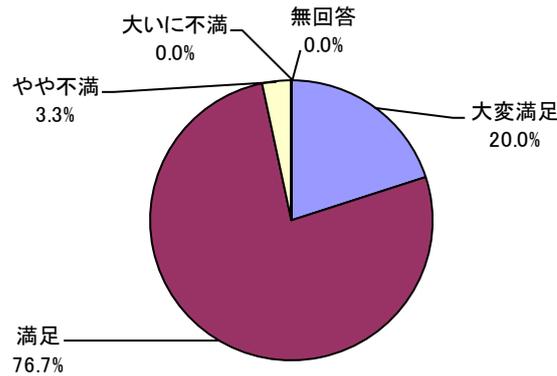


【参加者の主な声】

- 大変わかりやすかった。
- 生涯学習、社会教育についてとても勉強になった。
- 〇J Tでできないところがあった。
- 他市町の担当者の話を聞くことができた。
- 他の参加者の考えにも触れられ、個別にもアドバイスをいただいた。
- ポイントをおさえた資料をもとに、基本的なことを丁寧に教えていただいた。
- 参考になることも多く、今後の事業の際により多くのことに気を付け、より充実したものとすることができると思う。
- 生涯学習というものが自分の中で抽象的なものであったが、具体的に頭の中の整理がたった。
- 目的としていた基本の再確認にとっても役に立った。
- 基礎から学習し直すことができ、今後の業務の参考にできそうである。
- 自分が職員としてやってきたことや考え方を反省でき、知識ある方のお話しが聞けた。
- 忙しさにかまけていて深く事業について考えられないことがあるが、それではだめだと気付かされた。
- 具体的な話などがもっとあると良い。
- もう少し講座を受けたかった。

3 研修プログラムの内容について

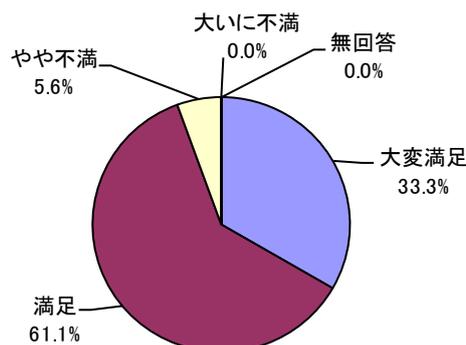
(1) 講義「生涯学習・社会教育に関する動向について」



【参加者の主な声】

- わかりやすかった。
- 具体的な事例を学べた。
- 生涯学習、社会教育の位置付けがわかりやすく、新たな発見があった。
- 「生涯学習」と「社会教育」について復習ができた。
- 学校との連携、地域の教育力の育て方のヒントを学べた。
- 少し専門用語が多く難しかったが、改めて確認できたので良かった。
- 改めて重要な法律を確認することができた。
- 法律について再度しっかり考える機会になった。
- 主事講習や新任研で学習したことの再確認の場となった。事業なども前年のままではなく、その時の社会的ニーズをよく考えてねらいを定め、それに合ったことをする。当たり前のようだが、実際できているのか反省しないといけない。
- 北海道社会教育委員の会議（提言）「子どもたちの自己肯定感の育み・・・」について何かしなければと思った。
- 踏襲するだけでなく自分の思いを込めることによってモチベーションを上げ、頭にも入るということに気づかされた。
- 他の研修で長時間受けた講義と重なった。
- 法ができた背景の話などがあると興味深くなる。
- 初めて聞く話もあり、業務の参考となるものも多かったが、時間が短く個人的には少しわからないこともあったので、もう少し時間があれば、詳しい話を聞くことができたと思う。

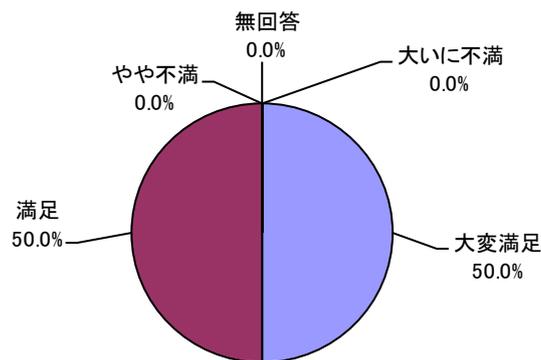
(2) A：講義・演習①②「社会教育事業の企画立案を体験」



【参加者の主な声】

- 午前中しか受けられなかったが、一つの事業に対して自分のしたいことを反映できるようにしたいと思った。
- 今後の事業企画に役立つ演習をすることができた。講師の方の説明もとてもわかりやすかった。
- 事業について考える時間になった。午前の話とつなげて中期計画を考えたかった。個別にアドバイスをもらった。
- 担当事業を見直す良いきっかけとなった。
- 作るだけでなく他の人が作ったものを見ることができて良かった。他の人が作ったものを参考にする機会はあまりないので今後の参考としたい。
- 開催要項での「どなたでも参加」という言葉は、参加しにくくなることを知った。
- 実際に様式に沿って考えると不十分な部分が出てきて驚いた。また、目的を見失いがちになっていたことについても同様に驚いた。
- 現在実施している事業の進め方に迷っていたところがあったので、参加して良かった。
- 細かい立案のステップの他、他の参加者の方々の立案例も見せてもらったので、今後具体的に役立つと思った。
- 事業を企画・立案するには、まちのことをよく知り現在の事業を見返すことから始める必要があることがわかった。
- 事例発表は大変でしたがすごくためになった。
- はっとさせられることばかりであった。帰ってから自分の担当している事業を見直したいと思う。
- すべての案件（作成した一人一人の開催要項企画案）に触れることができず残念だった。
- もう少し時間がほしかった。

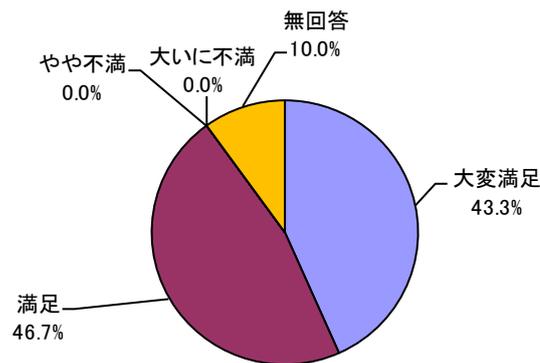
(3) B：ワークショップ①②「社会教育主事・社会教育担当者として必要なものを整理」



【参加者の主な声】

- 難しい課題であったが、他町の方とお話しする機会になった。
- 日々、かけ足で過ぎていく毎日の中、じっくり考える機会をいただいた。
- 日常生活（実践）と照らし合わせて何をすべきなのかについて、振り返る機会となった。
- 表面的なお坊ちゃま回答が通用しないことを理解した。
- 経験年数の違う方々の意見や考え方が聞けて勉強になった。考える内容及びテーマがおもしろかった。

4 研修講座の運営について



【参加者の主な声】

- また勉強させていただきたいと思った。
- 若干足早であったと思ったが、内容についてはとても満足いくものであった。
- 説明がとてもわかりやすかった。
- 導入及び展開が良かった。4時間のプログラムでは十分であった。

5 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の主な声】

- 考える手順というものを改めて考えることができた。B：ワークショップの成果を知る機会（A：講義・演習受講者）がほしいと思った。
- 首長部局からの参加があれば良い。（生涯学習について学んでほしい）
- 円滑に進行されてリズムが良かった。
- 社会教育に携わって日が浅い分、自分から知り自分から考えなくてはいけないことが多いということを理解した。
- 難しいとは思いますが、もう少し時間がほしかった。
- 講義はそれなりに勉強になったが資料を読んでいるだけのようにも思った。資料にのせていない違った視点のお話もあっても良かったのではないかと思う。
- 申込用紙に受け付け終了後、電話かメールで連絡すると書いてあったが、連絡がなく受付が完了しているのかわからなかった。

6 今後の要望等

【参加者の主な声】

- ・このような学習の機会をまたお願いしたい。
- ・3年未満と限定すると経験年数に差が出るため、1年目、2年目と細かく区切った方が今後、より良い職員研修になるのではないかと思った。